

令和3年度（2021年度）第4回南区まちづくり懇話会 会議録

1 日時 令和3年（2021年）12月21日（火）午前10時～12時

2 場所 南区役所 3階大会議室

3 出席者 計31名

・南区まちづくり懇話会委員 13名

柴田委員（会長）、平井委員（副会長）

前出委員、榊田委員、吉本委員、森委員、村山委員

正木委員、島田委員、永井委員、澤田委員

北岡委員、宮崎委員

・事務局（熊本市職員） 18名

南区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、区民課長、土木センター所長

福祉課長補佐、保護課長、保健子ども課長

南区管内まちづくりセンター所長（6名）、総務企画課職員（3名）

4 内容

(1) 開会

(2) 区長挨拶

(3) 意見交換

議題 1 南区校区カルテの活用方法について

報告 1 第2回、第3回南区まちづくり懇話会（甲佐町・長洲町視察）について

報告 2 第1回南区人生会議の日について

報告 3 高齢者の移動手段に関するインタビュー調査結果について

報告 4 新たなまちづくりの動きについて

(4) その他

・まちづくりフォーラム2022の開催について

・天明地区防災計画の策定準備

(5) 閉会

5 意見交換議事録

(1) 議題 1 南区校区カルテの活用方法について

【資料 1 について 事務局から説明】

(柴田会長)

ご説明ありがとうございました。

この校区カルテは、今年度の第1回南区まちづくり懇話会で説明があったように、まちづくりセンターを中心に作っていただきました。資料の前半は、色々な校区のカルテを混ぜて説明していただきました。これで一つのものということではなく、21校区分のカルテをそれぞれ抜き出して、こういう雰囲気で作っているというご紹介でした。後半は、この21校区を比較してみると、こういうデータであるというご説明をしていただきました。今日は、これが主なメインの議題となりますが、校区カルテに対するご感想やご質問、それから、どう使っていくかというご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

最後にホームページに掲載ということを書いておりますが、既に掲載されているということです。

(森委員)

空き家率について。私の住む校区は空き家が非常に多いのですが、八幡団地という団地があり、全戸140世帯ほどある中で90世帯程度入居しています。このような公共の団地の空き部屋などがわかる資料はあるのでしょうか。

(柴田会長)

それは私も気になっていました。公共の団地と民間の賃貸住宅も含めて空き家率が出ていると思うのですが、賃貸住宅向けの空き家と所有しているものの空き家では意味が違うと思います。それについて何かデータはあるのでしょうか。市営住宅のことも含めてお答えいただければと思います。

(江区長)

賃貸住宅については、建物の部屋すべてが空室となった場合、空き家として1とカウントするという事です。空き家率として出ている数字は、賃貸住宅であれば丸ごと入居されていない、あるいは一戸建ての空き家であるということになります。

公共施設の空き家率については、市住宅課に確認するととれる資料ですが、本日は用意しておりません。

(柴田会長)

市営住宅や賃貸住宅が丸ごと1棟入居されていないというケースはほとんどないと思われるので、この空き家率の数字は、これらを含んでいない空き家の数と考えられるかなと思います。今後、校区カルテの更新もあると思います。空き家率は重要な数字ですので、そのあたりも含めた数字としてカルテを作成していく方が実質的かなと私は思いました。

(正木委員)

土地の利用形態について。市街化区域と集落内開発制度指定区域では建物を建てられる条件が違います。集落内開発の区域では、スーパーを建てたくても規制がかかって建て

られないので、そういった色々な条件が絡み合っていると思います。建物を建てたくても建てられない状況があり、人口が減少しているのは、それも大きな要因。建物が建てられる飽田東校区や飽田南校区は人口が増えています。地元の人が希望していてもそれができない地域もあります。行政側は、都市計画の際にそういったことも管理しながらやっていってもらいたいと思います。

(柴田会長)

ありがとうございます。今の点はいかがでしょうか。

(江区长)

土地利用に関しては、資料 1 の 28 ページに市街化区域、市街化調整区域、市街化区域内でも一定程度の開発が許された集落内開発制度指定区域を示しています。聞くところによりますと、令和 5 年度には農業振興地域の見直しが行われるということです。農区长へ地域の実情等をヒアリングしていると担当局から聞いています。それから、令和 7 年度には 10 年に 1 回の都市計画における市街化区域と調整区域の線引きの見直しも行われるということです。

私も地域へお話を聞きに行くと、農業だけでは食べていけないから土地を売りたいという声を聞いたこともあります。そういうことでまちづくりを考えると、地域の方々が団結してやるのが重要だと思っています。

資料 1 の 9 ページに富合校区の直近 10 年間の人口推移を地区別に表したものがあります。校区全体では人口が 2 割増えていて、右肩上がりに増加している清藤地区は、2.3 倍増なので、すでに旧住民より新しい住民の方が上回っています。一方で右肩下がりの木原地区は、同じく集落内開発制度があるが、新たな転入者が増加しない、家が建たない、という状況もあるようです。転入者の方から選んでいただけるようなまちづくりをすることが大事だと思っているところです。

(正木委員)

家を建てる側の条件としては、学校があって、買い物ができる、交通の便がよければいいと思います。最近では買い物難民が多いです。企業はスーパーを建てたい、土地も提供する人がいる、でも規制があって建てるできないという状況です。建てても面積を小さくしないといけません。飽田西校区、飽田南校区にはスーパーがなく、元々あったスーパーもやっていけず辞められました。企業が建てようと思ったときに、市は建てていいが、農業委員会はいいか、など色々なところが絡んでくるので、まちづくりセンターが中に入ってやっていけるとよいと思います。買い物難民の高齢者からの意見です。住宅を建てる若い人たちも、買い物の場所は近い方がいいので、どうにかできないかと思います。

(江区长)

今回、校区カルテを作って新たにわかったのは、飽田東校区は人口も多いところですが、ここでもスーパーと呼ばれるものは1軒もなくなっています。旧飽田町、旧天明町、旧富合町の3地域においては、日常生活で必要となるスーパーがない地域。高齢で免許返納された高齢者は買い物難民のような状況になられていると思います。第1回懇話会でもお話させていただいたように、中山間地域によっては地域で商店を営んでいらっしゃる場所もあります。企業の方へ出店してほしいと言っても、利益が出るかどうかで判断されると思います。

地域が一体となって要望していくというような活動も重要になってくると思います。

(前出委員)

飽田東校区は、肥後銀行もなくなります。これまで様々なことで陳情してきましたが、なかなか受け入れてもらえず、通りませんでした。これからも区長がおっしゃるように、地域のみんなで頑張っていきたいと思っています。病院だけはある程度の距離のところにあるけれど、市内に近いのでスーパーも長続きしないようです。

(柴田会長)

二つの話が錯綜していますね。人口が減っていくことによって商店などが成り立たなくなり、商店がなくなっていくというお話と、人口を増やしたいので、利便性を確保したいので、商店を建てたいけど規制があって建てられないというお話でした。今回の校区カルテに関して言うと、校区によって状況が異なるので、校区ごとにどうしようかというのを校区の人たちでまず議論していく必要があると思います。

ただ一方で、市としては規制について法律で決まっているので、そうせざるを得ないという状況があります。これ以上、緩和しようといくら陳情してもできません。そこは、その中でどう考えていくというのがまちづくりだと思います。区長がおっしゃいましたが、住民の皆さんが、陳情ではない声を挙げていく必要があると思います。陳情はあくまで陳情。でもこの校区カルテを使って、住民総意でまちづくりの計画を立てましたということになれば、それは陳情ではなく計画になっていきます。そうすれば区だけでなく市も、なんらかの形で動かざるを得ないと思います。そういうレベルのまちづくりというものが必要ではないかと思います。

個別には、農業委員会が止めているもの、市が止めているものがあると思います。

(平井副会長)

富合校区は人口が増えていますがスーパーというものは1軒もありません。清藤地区は人口が増えているが、木原地区は学校が遠いのが人口が増えない理由かだと思います。

(柴田会長)

制度的には日常生活に必要な店舗というものは建てられない訳ではないと思います。建

てられる規模と、企業が求める規模が違うと思います。小さい店舗では成り立たないので、企業としては大きい店舗を建てたいけれど、規制によって建てられないという状況。そこをどう考えるかだと思います。南区にとっては、人口が増える可能性があるのに、それを規制が止めているのではないかという住民の思いがかなりあるようですので、校区カルテを使って、今後の動きに活用していかなくてはならないと思います。

一方で申し上げたいのは、南区に人口が増えてきたのは、ほぼ周辺市町村から来ている方だと思われま。どこの地域ももう若者は少なくなってきました。移動もずっと継続的にあると思ってはいけません。移動してくる元がない状況です。今後もずっと開発さえしていけば、人口が増えていくという訳ではないと思います。それも踏まえて、南区としてまちづくりをどうしていくのか、それを10年~20年のスパンで考えないといけないと思います。そのために、このような懇話会という場があるし、校区カルテというものが非常に意味を持ってくるのかなと思います。

(榊田委員)

天明地区は最も過疎が進んでいる地域だと思います。小学校は4校が合併し、小中一貫校にする計画があります。若い人は兼業農家か、中心部など外に仕事で出ています。機動力のある人たちは、外に買い物に行ける状況にあるけど、高齢者はほとんど移動手段がない状況です。

テレビで見ると巡回するお店があって、高齢者が少し歩いたら買い物ができればいいと思います。若い人は仕事で外に出て、買い物をして帰ってきます。天明の中にスーパーがあったけどなくなってしまいました。コンビニはあるが、生活必需品がすべてある訳ではないので、地元の人ではなく通過する人の購入場所になっています。高齢者がどのようにして買い物に行けるかを考える必要があると思います。免許証返納する高齢者もいて、車でも行けません。商売をされる側へ何らかの支援がないとできないのではないかなと思います。高齢化と少子化が一緒になって襲ってきているのが現状なので、工夫して高齢者も生活できるようにしないといけないと思っています。

(柴田会長)

21ページに乗合タクシーの資料がありますが、今の買い物のお話はこれと関連すると思います。乗合タクシーの状況について、ご意見などございますか。

(江区长)

高齢者の移動に関しては課題であるという認識を持っておりました。報告3でご説明を予定しておりましたが、先に説明させていただきます。

(事務局)

【報告3 高齢者の移動手段に関するインタビュー調査結果について説明】

(柴田会長)

先ほどの正木委員や榊田委員の意見は、高齢者の買い物や通院などの利便性が確保できていないということと、それらが確保できないと新しい住宅が建つのも難しいのではないかというお話でした。新規に立地できるようにするにはどうしたらよいかを考えると、もう一つは移動手段をどう確保するのも一つの方法だと思います。

区としてこのような調査を実施していただいたということですので、これを踏まえてまたご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

(宮崎委員)

校区カルテについては、一般企業等にも情報提供として広報活動を是非やっていただきたいです。私が住む飽田西校区は、飽田地区の中でも人口が減っているところです。逆に力合や富合など人口が増えているところは、企業や商店にとっても魅力的な場所だと思います。そのような情報は、企業も欲しているのでもっと情報を発信していただきたいと思います。

力合、富合など人口が増えているところは、町の中でゾーニングができると思います。スーパーや病院があって、住居スペースがあって、町の中で完結できるくらいの人口もいるし、市街化区域でおそらく色々なものを作れるんだと思います。そういった地域は何もしなくても街の中で循環できるレベルにあると思います。

一方、飽田天明などは成り立たなくなっている。本当に成り立たなくなっているのかということもまた考えるべきで、天明だけだと商店などは難しいかもしれませんが、例えば飽田西校区は車で行けばすぐのところなので、そういったところと連携して誘致なども一緒にやっていく必要があると思います。

私たち 20 代の目線では、車で移動できるので、近くにスーパーがなくて困るとは思わないのですが、今スーパーがなくて、高齢者の方は移動が不便で行きづらいということなので、交通アクセスの問題をいかに改善するかが重要だと思います。スーパーを誘致することも大事ですが、まず今できることは、例えば力合のイオンなどにドア・ツー・ドアのバスを走らせる、それも予約制でなく、ある時間にある場所に来ってくれるなど、今置かれている状況を考えて議論していくことが重要だと思っています。

(柴田会長)

ありがとうございました。非常にごもつともなご意見であると私も思いますし、やはり両方やっていくべきかなと思います。

(平井副会長)

デマンドタクシーの件です。釈迦堂号は、年々ゼロに近い利用者数になっています。導入されて 10 年近くになり、その間担当課から電話で利用状況を尋ねられたことが年に 1 回

ほどありましたが、改善の動きが見られません。このような場で話が拳がっても、所管する都市建設局には話が伝わらないと感じています。視察に行った長洲町のきんぎょタクシーは身近な運営がなされていると感心しました。なぜ利用がないのか改善方法を考えていただきたいと思います。

(江区長)

この調査については、熊本市議会の一般質問でも取り上げていただいた。南区の調査でこのような状況がわかりましたので改善していただけないかというご質問でした。所管する都市建設局から、見直しを検討していきたいという前向きな答弁がございましたので、それに期待したいと思っております。また、他区の事例ですが、地域でコミュニティバスを運営しておられるところもございますので、そのような可能性も今後皆様方と探していきたいと思っております。

(柴田会長)

ありがとうございます。平井副会長、住民として、釈迦堂ではどのあたりが利用しにくいなど意見がありますでしょうか。

(平井副会長)

最初は、目新しさから使っていた気がしました。近年、コンビニができましたので、ちょっとした買い物はそこでできるので利用が減ったのかなという感じもします。予約制で縛られる感じがする、乗る場所が決まっている、時間が決まっているということで利便性に欠けると思います。買い物は、巡回してこられるお店が1、2軒はあるようです。病院、銀行、郵便局などへの外出時に利用が考えられますが、タクシーのように予約するとすぐ来てくれて玄関から玄関まで、となると一番いいと思います。

(柴田会長)

高齢者は停留所まで行くのが大変というお話をよく聞きますので、停留所までをどうしようか、という問題はあると思います。予約についてよく聞くのは、面倒という話と、私のために申し訳ないという高齢者もいらっしゃいます。ターゲットの方のお話を聞きながら見直しを進めていただきたいと思います。本庁が担当しているので、区として声を挙げていく必要があり、とてもよい調査だったのだと思います。

(森委員)

高齢者以外の方が利用されたという話がありますか。例えば小学生が登下校に使ったなど。

(江区長)

実際に利用があるというのは聞いたことがあります。特に高齢者に限るという制度ではございません。

(柴田会長)

天明、中緑が3桁の利用者数になっていますが、何か要因があるのでしょうか。

(江区長)

詳細な分析を行っている訳ではありませんが、天明、中緑地区は公共交通機関がほとんどない状況であることと、目的地が川尻駅となっていて、川尻駅周辺は、スーパーや病院等があることから、利用者増につながっているのかなと思います。

平井副会長がおっしゃった釈迦堂号は、目的地が最寄りのバス停ということで緑川橋のバス停になっています。そこからバスを乗り継いで、川尻まで高齢者の方々が買い物に行かれるというのは非常に想像しがたいと思います。

(平井副会長)

釈迦堂は小学校まで4キロほどあります。保護者の方に聞いた話では、子どもは歩かせて体を鍛えたいので利用しないという話も聞きました。釈迦堂号については子どもの利用は全くありません。

(柴田会長)

そこは考え方だと思いますが、スクールバスという話と、小学生は歩くべきという話、様々なご意見はあると思います。

(吉本委員)

私たちの地域は、そういった難問を抱えておらず気持ちがわからないところがありますが、他県の乗合タクシーで、けっこう融通が効き、家の近くまで送迎されているというのをテレビで見たことがあります。

九州産交などの会社に依頼されていると思いますが、ボランティアなどにも声掛けし、お手伝いしていただいたらどうかと思いました。

(柴田会長)

菊池市のデマンドタクシーはどこでも拾ってもらえて、行き先は駅や中心部などの決まったところ、というパターンだったと思います。色々なやり方があると思います。

(北岡委員)

以前、農協がマイクロバス2台を使って過疎地域を移動販売で回りましたが長続きしませんでした。理由は利益が上がらないからです。

空き家対策については、私の家の隣家に空き家があり切実に困っています。遠くに子どもさんがおられるようですが、片付けもされておらず、給湯器も傾いている状況です。門のブロック塀も私の家の方向に傾いています。空き家対策の調査には来られましたが、状況は改善しません。行政にも考えてもらいたいと日頃から思っています。

(柴田会長)

空き家の話はとてもリアルなお話でした。おそらく子どもさんに行政から連絡を取られて、あとは子どもさん次第という状況だと思います。それで改善しないということであれば、もう1度市の担当課へ連絡をすると、次のステップとして市から子どもさんに再度依頼できる仕組みになっているので、そのようにされたらどうかと思います。ただ、所有者次第というところはありますよね。

(江区长)

空き家問題に関しては、南区においても多くの地域で課題となっております。家屋が倒壊した事例もありました。所有者の方とつながりを持つ方も地域にいらっしゃると思います。そういった方々に、迷惑がかかっているからどうかしないか、ということをお願いいたいただくのも地域の力と言えるのではないかと思います。地域の力によって空き家問題なども解決できることがあると思います。法律の規制等で、行政だけの力でできない場合があります。行政と地域と一緒にやっていくのが解決に向けた近道ではないかと思っています。

(村山委員)

私の地区も人口は流出しているが、移動販売車が週に2回ほど来ていて、高齢の方は利用しているようなので、やはり地域によって違うのかなと思いました。

デマンドタクシーの件は、もう少し細かくフォローすれば、また利用者も増えるのではと思います。地区ごとの差があるのを見ていると、条件の違いはあると思いますが、ニーズの多いところなどは、やり方を変えてみてもいいのではないかと思います。

(柴田会長)

ありがとうございます。今のお話で、移動販売が意外とあると思ったので、校区カルテにも移動販売の情報を追加してもよいのではないかと思います。

(澤田委員)

城南校区は、校区カルテを見ても高齢化していることがわかります。空き家も高齢者世帯も増えています。近所にも空き家が何軒もあり、息子さんに連絡をとっても、息子さんが対応してくださらないという家があります。地震や台風の後には、通学路だから危ない、どうかしてほしい、ということで近隣の方から自治会長や民生委員に連絡があります。熊本地震の後、親族にお願いして公費解体できたところが1軒ありましたが、どうもなっていない

と言い張って中の調査を受けられないところもあり、近隣の住民は不安に思っています。大きな災害がきたらどうなるんだろうという思いがあります。

個人や自治会、民生委員で対応するとき、私有物は権利を持っている方がいらっしゃるの
で、踏み込めません。別の校区の話ですが、病気で入院された方が、もう自宅に戻れないの
で片付けを頼みたいということで、民生委員に連絡があり、民生委員が片付けの立会いをさ
れました。ところが、元気に回復されて家に帰られたときに、何も無い、勝手に処分してし
まったということで訴えられたり、警察に駆け込んだり、ということがあったそうです。そ
の民生委員には過ちは無いということですが、訴えると言われると受けるしかなく、心痛な
さっているということでした。

そういうことがあると、地域も踏み込むことができません。警察や行政が手を出せない、
老朽化していく空き家を眺めて、どう解決していけばいいのかと心配しています。地域も
高齢化して人口減少していますので、空き家もこれから増えていくと思います。そういった
ときの対応が難しいので、何かよいお知恵があればと思います。

(柴田会長)

ありがとうございます。今のお話は空き家になる前のお話でしたね。今空き家になってい
るところも、問題が解決されないまま空き家になっているのかなと思います。荷物がそのま
まになっているという状況もけっこうあるのではと思います。それが次の活用につながる
ないという面もあります。

福井県では、福祉系のNPOの方と連携して空き家の利活用をされています。つまり、元
気なうちにこの家をどうするか考えましょうということです。福祉との連携というのも対
策としてあるんじゃないかと思います。

(永井委員)

校区カルテはすごく勉強になりました。カルテについて周知の問題はあるかもしれませ
ん。関心をどう持ってもらうか。底上げ、周知徹底するために、私は以前20代から60代
まで各地域から5人ずつ出してもらって、ワークショップをやったことがあります。大変で
したが一時は少し効果があったような感じがしました。そういったことで、周知、底上げ、
関心を高める。最終的には教育だと思います。

個人的には、市との協働と言うが、行政サービスがよすぎて、あてにしすぎて勘違いして
いる住民が多いかなと思います。自分たちのための、自分たちによる運営ということを、ワ
ークショップ等でみんなで働きかけていくのが大事だと思います。

(柴田会長)

貴重なご意見ありがとうございます。それができれば理想だと思います。

小学校の総合的な学習の時間などでは地域のことを学びます。そういった教育との連携
もとても重要な点だと思います。

(島田委員)

南区は東西南北大きな幹線道路もあり、JRの駅も3つありますので、そういったものを生かせないかと思っています。

我が家は代々農家でしたが、父が高齢になり農業ができなくなり、1年間田んぼを放置しました。富合地区ですが、基盤が整っているところではなく、けっこう広いところです。そこで、近所の方から県の農業公社と契約して米を作らないかという話があり、契約し無償で貸して作ってもらっています。ただ、それができないお宅もあって荒れているところも多い状況です。

(柴田会長)

一通りお話をうかがいましたが、他に何かございませんか。

(正木委員)

南区は山間地もありますが、全体的には低地がほとんど。低地の防災におけるハザードマップなどもありますが、それについてもっと深く考えていけないと思っています。最近では災害が頻発しているので、追いついていけないのではと危惧しています。

(柴田会長)

資料1の30ページに、次年度以降開催予定の校区まちづくりワークショップで活用を想定と書いてあります。区としては、そのような方向性で使っていくということですが、その際に、是非今日挙がったご意見である開発の規制に関する問題も、校区ごとでより実地に即した形で議論した方がよろしいと思いますし、買い物問題は誘致、移動手段の問題と絡んでくると思います。空き家問題も地域の方々、行政としての対応との組み合わせだと思っています。また、防災、防犯のお話も含めて校区ごとにしっかり考えていくことが来年度以降とても重要だと思います。ワークショップというお話も出ましたので、より具体的なデータを基に実施していただきたいと思っています。随時、この懇話会で報告、議論を続けていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

それでは、次に報告1、2、4をまとめてお願いします。

(事務局)

【報告1 第2回、第3回南区まちづくり懇話会(甲佐町・長洲町視察)について説明】

【報告2 第1回南区人生会議の日について説明】

【報告4 新たなまちづくりの動きについて説明】

(柴田会長)

ありがとうございました。3つ報告をしていただきました。ご質問やご感想などはいかが

でしょうか。特に、視察は参加できなかった方もいらっしゃいます。参加された方にご感想をいただければと思います。

(前出委員)

私は2回とも参加しました。甲佐町の古民家施設はバスの中からしか見られなかったの
で、見られるときに計画してはどうかと思いました。長洲町では、造船所を視察しました。
実際行ってみると広くてびっくりしました。小さな鋼板から大きな船ができるそうで、7か
月で3隻造るということでした。熊本にもこんなところがあって、世界に船が出て行ってい
るということを肌で感じました。

(柴田会長)

ありがとうございました。他にございませんか。

(榊田委員)

井戸江峡のキャンプ場は、地震後の復旧が大変だったと思います。南区の中にあのような
環境のところがあるかなと思いながら視察しましたが、夏場は非常によいところだと思
いますし、子どもも大人も楽しいキャンプができるのではないかと思います。
古民家施設は外観だけ見てきました。南区にもそのような施設があれば開発して交流拠点
になればよいと思いますが、思いのほか資金が必要ということを感じました。何かをやるに
しては元手が必要。そういったところを作るのか、すでにあるものに当てはめるのか、いず
れにしても難しいなと思った次第です。

(柴田会長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(平井副会長)

長洲町に行ってまいりましたが、長洲町長の話聞いて長洲に住みたくなるような気持
ちになりました。特にきんぎょタクシーは関心を持って聞いていましたが、熊本市でもこ
ういうことができなかな、どうしたら導入できるのだろうかと思いました。すばらしいまち
づくりができていると感心して帰ってきました。

(宮崎委員)

甲佐町で人口2万人を目指してまちづくりをされている「パレット」の方は、まちづくり
について何か研究されているわけではなく、個人で事業をされている方が代表を務めてい
らっしゃいます。どういう経緯で「パレット」を立ち上げたのかお尋ねしたところ、3~4
人で居酒屋でまちづくりの課題を話していて何とかできないか、というところからスター
トしたそうです。

私たちはまさにそういう話をしているので、まちづくりの仲間を増やしていき、南区にも応用できるのではないかと感じました。甲佐町で「パレット」が受け皿となっていたように、誰がやるのかという受け皿さえできれば、デマンドタクシーを町だけで完結できるシステムを作ることでもできると思いますし、空き家の調査も、地元住民でそういう団体を作れば行政の手を煩わすことなくできることもあると思います。今一度、自分たちがまちづくりの主体となって何かできないかなと感じましたし、できると思いました。また、まちづくりの担い手の育成と、その連携として梓づくりが必要だと感じました。

(北岡委員)

私も甲佐町で若者が自分たちのまちづくりに努力を惜しまない、代償を求めない姿に感心しました。長洲町の造船所では初めて見る光景で驚きました。町長講話も何一つ欠かせない大事な話ばかりでした。最後に長年続く蒲鉾屋さんに行きましたが、地域の方の支えとお店の努力があってできることだと思います。

私が日頃から思っていることは健康のことで、食品には添加物がたくさん使ってあります。町の発展、お店の発展も大切だけど、地域の人たちが良いものを買って、支えるという努力をすることは、ひいては健康のためでもあり、医療費全体も安くなります。その分で他のことにお金が使えらると思います。自分自身の健康は、地域づくりに貢献できるということを皆さんにも考えてもらいたいと感じました。

(柴田会長)

ありがとうございます。今日は健康の話題が出ていませんが、おっしゃる通りだと思います。きんぎょタクシーは市外にも行っていて、ドア・ツー・ドアということなので、熊本市でもできるのではと思いました。よいタイミングでよい視察ができたのではないかと思います。

(正木委員)

福祉課の第一回人生会議の日についてはおもしろいと思いました。テレビなどでこのような企画を見たことがありますが、少しずつこのような企画を増やしていただきたいと思いました。

(柴田会長)

報告にもありましたが、色々な関連するイベントがあると思いますし、他の取り組みともリンクしていけるのではないかと思います。

(森委員)

長洲町では公営住宅を若いご夫婦に期間を限定して貸しているという話がありました。川尻校区に八幡団地という古い団地があって、かなりの戸数が空いています。そのようなと

ころを使えるように整備して若い方に安く貸して、例えば家賃の一部を積み立てて、5年経ったら契約が終わり、契約終了のときに積み立て分をお返しして、それを元手に新しいところへ引っ越ししたりするというような使い方ができないかなと思いました。

(柴田会長)

市営住宅の活用は大きな問題だと思います。県営住宅では空き家をリノベーションして、若い人も住めるような整備をモデル的に始めたところがあったと思います。市営住宅でも可能ではないかと思いました。

イルミネーションはみなさんご存知でしたでしょうか。

(江区長)

富合中心に自治会長さんにチラシを配っていただき、当日は400名弱の方に集まっていただきました。コロナ禍の2年間、イベントがなかったので、非常に多くの方に集まっていただきよかったと思っております。今回、4点報告させていただきましたが、すべてに共通するところは、色々な方々に関わってもらっているということ。決して地域住民だけでなく、よそから来られた方も関わっていらっしやいます。イルミネーションのイベントについても、富合商工会だけでなく、高齢者福祉施設の方々にも参加していただきました。色々な方が繋がる、色々な方と一緒にやる、という多様性が、まちづくりの観点には重要だと改めて思ったところです。

(北岡委員)

皆様方の自治会長はどのように選んでいらっしやいますか。私は自治会そのものがもう少し地域に密着したものになればと思います。私の自治会は700世帯ほどありますが、自治会長やその他の役員を知っている人がほとんどいないと思います。自治会長が中心となって進めることとなりますが、周りの人がいかにして自治会に興味を持っていただくか、参加していただくかに力を注いでもらいたいと思っております。自治会長や他の役員の方とそのような話をするけれど、なかなか進みません。選挙ではなくても、行動力のある方に自治会長をやってもらい、身近な運営をされたらよいなと、日頃から思っています。

(平井副会長)

富合校区は22の自治会があり、毎月1回定例会を実施しております。自治会長の年齢は、60歳代～80歳代で、以前は農家の方が中心でしたが、近年は農家の方はほとんどおられません。毎月の協議事項を役員で打ち合わせて決めて、各地区に情報発信をしています。自治会長は配布物も多く、会議のときに資料を持ち帰ってもらっています。自治協議会は各種団体も含めた会議で全部で40名ほどの人数になります。自治協議会は年に3回実施します。自治協議会では、成人式や夏まつりなどの校区全体のイベントを中心とした事業を実施しています。

(柴田会長)

自治会長の話題はとても重要で、様々なことが自治会長からスタートするのがベースである一方で、成り手がいないので持ち回りという話もあります。この場で答えを出すことはできませんが、どのように選ぶのかというのは重要なことだと私も考えております。

(事務局)

【まちづくりフォーラム 2022 の開催及び天明地区防災計画の策定準備について説明】

(柴田会長)

ありがとうございます。まちづくりフォーラムについては、講師の方々を存じ上げておりますが、よくこの3名を集められたなと思います。皆さんにも是非聞いていただければと思います。

天明地区防災計画の策定については、この懇話会で随時ご報告いただければと思います。

今日は以上になります。皆様、活発なご意見をありがとうございました。特に校区カルテは完成ではなくスタートですので、今日出てきた意見を反映させて来年度以降、運用を進めていただきたいと思います。

私からは以上です。ありがとうございました。